



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

東

上場会社名 株式会社カワタ

上場取引所

コード番号 6292

URL <https://www.kawata.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 白石 亙

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 永易 拓也

(TEL) 06-6531-8211

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,336	△8.8	106	△75.3	153	△61.2	76	△70.8
2026年3月期第1四半期	4,753	0.0	429	244.4	396	59.0	260	79.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 196百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 11百万円(△96.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	10.90	—
2026年3月期第1四半期	37.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	23,939	13,520	55.3
2026年3月期	24,092	13,458	54.7

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 13,239百万円 2026年3月期 13,172百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	0.7	660	47.3	600	4.7	380	927.7	54.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	7,210,000株	2026年3月期	7,210,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	224,366株	2026年3月期	224,366株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	6,985,634株	2026年3月期1Q	6,981,107株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
3. その他	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格やサプライチェーンへの影響、各国の金融政策動向などを背景に、先行き不透明な状況で推移しました。

わが国経済におきましては、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調を維持しました。製造業の機械受注額においても、造船、化学工業、電子・通信機械などの特定分野の押し上げにより概ね堅調な動きを示しており、設備投資の先行指標の一つである機械受注統計を見ると、2025年7月～9月は13,616億円（前年同期比14.0%増）、10月～12月は13,578億円（同3.9%増）、2026年1月～3月は14,937億円（同14.8%増）、4月は5,135億円、5月は4,372億円と推移しております。一方、資源価格上昇や原材料・部材調達に係る供給制約の影響、海外経済の不確実性などにより、下振れリスクを抱えた状況が継続しております。

このような環境下、当社グループは、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品、化学等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

当第1四半期における受注高は、東アジア及び東南アジアセグメントにおける増加はあったものの、主として日本及び北中米セグメントにおける自動車業界向けを中心とした射出成形関連の受注低迷により、前年同期比では2千6百万円減（同0.5%減）の56億3千2百万円となり、売上高につきましても、前年同期比4億1千7百万円減（同8.8%減）の43億3千6百万円となりました。一方、受注残高については、前年同期比2億8百万円増（同2.4%増）の90億4百万円となりました。

損益面では、生産効率の向上や諸経費削減などに努めましたが、原材料価格の上昇及び売上高の減少に伴う製造固定費率の上昇により売上総利益率が低下（34.5%→31.4%）し、営業利益は前年同期比3億2千3百万円減（同75.3%減）の1億6百万円となりました。また、経常利益についても、為替差益4千3百万円（前年同期は3千2百万円の為替差損）の計上等があったものの、前年同期比2億4千2百万円減（同61.2%減）の1億5千3百万円となりました。

特別損益につきましては、大きな発生はなく、法人税、住民税及び事業税4千7百万円、法人税等調整額2千9百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1億8千4百万円減（同70.8%減）の7千6百万円となりました。

日本におきましては、自動車業界向けを中心とした射出成形関連及び電気自動車（EV）向けのリチウムイオン電池関連の売上が低調であったため、売上高は前年同期比5億8千8百万円減（同17.4%減）の27億8千6百万円となりました。また、損益面では、売上高の減少に加え、売上総利益率の低下（31.5%→30.8%）と販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は前年同期比2億1千4百万円減（同50.8%減）の2億7百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）は為替差益の計上があったものの、前年同期比1億4千5百万円減（同33.8%減）の2億8千4百万円となりました。

東アジアにおきましては、中国経済は依然として厳しい状態であるものの、自動車関連の輸出が堅調に推移し、前年同期に比べると事業環境が改善されたことに伴い、売上高は前年同期比3億1千6百万円増（同32.8%増）の12億7千9百万円となりました。損益面につきましては、売上総利益率の低下（28.0%→24.0%）と販売費及び一般管理費の増加があり、営業損失4千6百万円（前年同期は7千4百万円の営業損失）、セグメント損失（経常損失）3千1百万円（前年同期は7千万円の経常損失）と黒字化までには至りませんでした。売上高の増加により、増収増益となりました。

東南アジアにおきましては、売上高は前年同期比3千8百万円増（同8.1%増）の5億1千8百万円となりましたが、損益面では、売上総利益率の低下（38.3%→33.8%）と販売費及び一般管理費の増加により、営業損失9百万円（前年同期は3百万円の営業利益）、セグメント損失（経常損失）1千2百万円（前年同期は4百万円の経常利益）となりました。

北中米におきましては、自動車業界向けを中心とした射出成形関連の受注低迷により、売上高は前年同期比1億5千8百万円減（同69.5%減）の6千9百万円となりました。損益面においても、売上高の大幅な減少に加え、売上総利益率の低下（39.5%→38.1%）と販売費及び一般管理費の増加により、営業損失4千2百万円（前年同期は3千7百万円の営業利益）、セグメント損失（経常損失）が4千1百万円（前年同期は2千万円の経常利益）となりました。

なお、報告セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、受取手形、売掛金及び契約資産、商品及び製品が減少したこと等により2億4千5百万円減少し、167億9千2百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、無形固定資産が増加したこと等により9千2百万円増加し、71億4千6百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1億5千3百万円減少し、239億3千9百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、支払手形及び買掛金、未払法人税等が減少したこと等により2億5千4百万円減少し、62億9千7百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、退職給付に係る負債が増加したこと等により3千9百万円増加し、41億2千1百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2億1千5百万円減少し、104億1千8百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、為替換算調整勘定が増加したこと等により6千2百万円増加し、135億2千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、中東情勢をはじめとした地政学的リスクや貿易摩擦の影響などにより、引き続き不透明な状況が続くものと予想されます。わが国経済も、雇用、所得環境の改善や設備投資の持ち直しによる緩やかな回復が期待される一方、物価上昇や海外景気の下振れ懸念の継続により、慎重なリスク管理が求められる状況が続くものと見込まれます。

かかる環境下、当社グループにおきましては、引き続き自動車関連業界における自動車の電動化、自動運転化、車体の軽量化、一体成形化(ギガキャスト)等の動きや、社会の変化に伴うタブレット、PC、スマホ、VR等の通信機器拡大、AI、IoT、5G等のデジタル化推進の動きへの確に対応してまいります。また、食品、粉体等の非プラスチック分野への販路拡大や生産年齢人口の減少、賃金上昇等の労働供給制約を背景とした省人化、省力化投資に向けた取組み強化などによる収益力の向上にも努めてまいります。

加えて、地球レベルでの環境問題(脱炭素、使い捨てプラスチックの削減)に対しては、お客様の生産現場や自社の事業活動及びお客様の製造物を通じて社会に貢献し、透明性の高い企業統治(コーポレートガバナンス)等を実現していくことで経営基盤の強化とESG経営を推進いたします。

なお、当第1四半期連結累計期間では、前年同期比では減収減益となっておりますが、受注高は概ね同水準で推移しており、東アジアセグメントにおける事業体制再構築の効果や事業環境の改善も見られ始めていることなどを鑑み、現時点におきましては、2026年5月13日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,438,399	7,793,890
受取手形、売掛金及び契約資産	5,854,565	5,023,466
商品及び製品	603,217	597,181
仕掛品	886,186	1,052,824
原材料及び貯蔵品	1,813,812	1,864,041
その他	476,085	499,475
貸倒引当金	△34,251	△38,600
流動資産合計	17,038,016	16,792,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,978,830	2,966,708
土地	1,657,205	1,660,476
その他（純額）	583,696	556,562
有形固定資産合計	5,219,732	5,183,748
無形固定資産		
その他	881,109	939,874
無形固定資産合計	881,109	939,874
投資その他の資産		
その他	956,710	1,026,331
貸倒引当金	△2,984	△2,984
投資その他の資産合計	953,726	1,023,346
固定資産合計	7,054,568	7,146,970
資産合計	24,092,584	23,939,249
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,754,028	1,701,039
短期借入金	2,587,856	2,622,856
未払法人税等	199,914	69,233
製品保証引当金	76,466	69,689
役員賞与引当金	51,650	10,480
その他	1,882,735	1,824,656
流動負債合計	6,552,650	6,297,955
固定負債		
長期借入金	2,735,584	2,723,920
役員株式給付引当金	43,910	43,910
退職給付に係る負債	1,098,772	1,113,404
その他	203,636	239,782
固定負債合計	4,081,903	4,121,017
負債合計	10,634,553	10,418,973

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	977,142	977,142
資本剰余金	1,069,391	1,069,391
利益剰余金	9,494,704	9,436,278
自己株式	△125,580	△125,580
株主資本合計	11,415,657	11,357,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	372,703	415,973
為替換算調整勘定	1,383,916	1,466,403
その他の包括利益累計額合計	1,756,619	1,882,376
非支配株主持分	285,753	280,668
純資産合計	13,458,031	13,520,276
負債純資産合計	24,092,584	23,939,249

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,753,572	4,336,518
売上原価	3,111,976	2,976,638
売上総利益	1,641,596	1,359,879
販売費及び一般管理費	1,211,983	1,253,857
営業利益	429,612	106,022
営業外収益		
受取利息	7,103	6,380
受取配当金	10,933	12,812
為替差益	-	43,210
その他	8,549	15,193
営業外収益合計	26,586	77,596
営業外費用		
支払利息	18,512	21,921
為替差損	32,854	-
その他	8,570	7,878
営業外費用合計	59,936	29,799
経常利益	396,262	153,818
特別利益		
固定資産売却益	70	299
特別利益合計	70	299
特別損失		
固定資産除売却損	0	733
特別損失合計	0	733
税金等調整前四半期純利益	396,333	153,385
法人税、住民税及び事業税	86,997	47,171
法人税等調整額	47,176	29,232
法人税等合計	134,174	76,404
四半期純利益	262,159	76,981
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	260,676	76,126
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,482	854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,918	43,270
為替換算調整勘定	△267,875	76,546
その他の包括利益合計	△250,957	119,816
四半期包括利益	11,202	196,797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,454	201,883
非支配株主に係る四半期包括利益	△12,251	△5,085

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	3,210,148	838,157	477,489	227,776	4,753,572	—	4,753,572
セグメント間の内部 売上高又は振替高	165,229	125,322	2,090	865	293,507	△293,507	—
計	3,375,377	963,479	479,579	228,642	5,047,079	△293,507	4,753,572
セグメント利益又は 損失(△)	429,642	△70,443	4,021	20,184	383,406	12,856	396,262

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	383,406
セグメント間取引消去	12,856
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	396,262

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	2,693,361	1,065,884	511,588	65,683	4,336,518	—	4,336,518
セグメント間の内部 売上高又は振替高	93,419	214,092	6,604	4,056	318,174	△318,174	—
計	2,786,781	1,279,977	518,192	69,740	4,654,692	△318,174	4,336,518
セグメント利益又は 損失(△)	284,451	△31,073	△12,443	△41,541	199,393	△45,574	153,818

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	199,393
セグメント間取引消去	△45,574
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	153,818

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	116,994千円	128,358千円

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。なお、北中米には生産拠点が存在しないため、記載しておりません。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
日本	2,630,264	△12.2
東アジア	1,079,276	28.3
東南アジア	136,379	46.4
合計	3,845,919	△2.2

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は販売価格によっております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
日本	3,863,128	△7.0	6,351,867	△4.9
東アジア	1,058,973	12.6	1,665,392	9.6
東南アジア	639,788	49.0	894,518	110.7
北中米	70,785	△48.3	92,846	△45.3
合計	5,632,674	△0.5	9,004,624	2.4

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
日本	2,693,361	△16.1
東アジア	1,065,884	27.2
東南アジア	511,588	7.1
北中米	65,683	△71.2
合計	4,336,518	△8.8

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。